

日本における大震災の地震保険需要に与える空間的・時間的効果

神谷 信一

ナンヤン工科大学

柳瀬 典由

東京経済大学

要約

この研究では日本における大震災の発生と地震保険需要の変化を分析し、大震災の地震保険需要に与える空間的または時間的な効果について調査した。特に、阪神大震災と東日本大震災の影響は空間的・時間的な広がりを持つことがわかった。空間的な影響は震源地からの距離とともに減少するものの、距離にかかわらず全国的に与える影響も大きいことがわかった。また、米国の洪水保険に関する研究結果と異なり、震災後の地震保険需要増加は一時的なものではないことがわかった。さらに、阪神淡路大震災での直接的な被災の有無が東日本大震災後の地震保険需要の変化に影響を及ぼすことも判明した。この結果は行動経済的な説明、特に利用可能性ヒューリスティックの一例と考えられる。

2016年10月